



7月！暑い！変なお天気！戦争も紛争も暴力事件！悪いことが多いなか、小さな喜びはありませんか？ポーポキから届けよう！

Popoki's Hot News!



NEW

ロニー・アレキサンダー編著

『ポーポキのマスクギャラリー ～コロナ禍でアートを通して
日常の安心を探る～』神戸大学出版会 2022.2.22 発行



夏のピース・イベント！

8月9日に核と平和について話し合うイベントをオンラインで開催します！

“一緒にどうぞ”！詳細については [7](#) ページをご参照。

「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だち**べさにゃん**は、次の「一言の平和」を送ってくれました。

平和とは、安全に好きなだけ学べることだ。

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

Popoki's Video Gallery

ポーポキの動画をぜひみてください！

ポーポキのマスクギャラリー～新型コロナウイルス感染拡大を生きる

<https://www.youtube.com/watch?v=BiT1ZjVUsm8&t=3s>

ポーポキのおうち

<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

ポーポキと一緒に平和のパクパクをつくりましょう！

<https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ>

ポーポキのピースマップ

<https://youtu.be/4t4PFV-dRBg>

ロニー・アレキサンダーの最終講義（ポーポキではないが、お許しください）

「大きな夢と小さな島々～30年間でふりかえって、そして明日へ」

<https://youtu.be/trbxJSP7-CY>

日本平和学会 関西地区研究会主催 <ウクライナ戦争への視座——平和学から考える> 「私たちが見えていないもの、そしてモヤモヤ感」

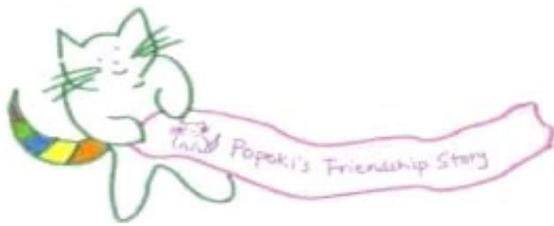
語り手 安齋郁郎、ロニー・アレキサンダー

聞き手 奥本京子、遠藤あかり

<https://www.psaj.org/chiku-kansai/> からユーチューブへ

英語だけど、ESPN
のミニシリーズ
‘Title IX’も観て！ろ
にゃんは第2部に
登場！





Popoki's Interview

やこにゃん

*最近は、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回と

次回は2回にわけて、やこにゃんがチェコのペットの状況について聞いてくれました。

聞き手：やこにゃん/語り手：ルチエニャン

こんにちは。私はカルチュラル・スタディーズのクラスメートのルチエニャンにインタビューしました。ルチエニャンは、チェコでペットの動物たちのための非営利団体で働いていました。今回、新型コロナウイルス感染症流行下の平和とペットの動物たちという観点からお話を聞きました（インタビューの後半は来月号です）。

質問1) あなたはチェコでペットの動物たちに関するどのような活動をしていましたか？

私が働いている（「ペット・ヒーローズ」という名前の）団体は、たくさんの異なるプロジェクトを行っています。そのすべてが助けを必要としている動物たちを助けるためのものです。私たちの時間と資源のほとんどは動物たちを直接ケアすることに捧げられていますが、一般の人々と動物関係の他の非営利団体の両方に対する教育プログラムもまた行っています。直接のケアに関して言えば、2種類の異なるプロジェクトがあります。一つは私たちの団体の元での都市シェルターです。それは、チェコでの標準的な市営のシェルターのように機能しています。すなわち、私たちはその動物たちを飼い主のいないもの（迷子になった動物たちや捨てられた動物たちなどです。虐待をしたために警察によって飼い主から引き離された動物たちもいます）として引き取ります。

しかしながら、他方、私たちはハンディキャップや特別なニーズのある動物たちを助けることに尽力しています。これらは、たいていは養育ケアに置き換わります。というのも、彼らはしばしば、既存のシェルターが提供するよりも、より特別な注意を要するからです。彼らはまた、頻繁に高額な医療ケアを提供することのできない他のシェルターからやってきます。私たちのケアの下にあるあらゆる動物たちにとっての新しい終の棲家を見つけようと努力しています。そのため、私たちの団体はハンディキャップによって引き起こされる問題に対して常に獣医代を支払うという誓いをしています。たいていはペットの保険はないので、これらの費用は本当に高くしてほとんどの普通の人々は支払うことができないのです。

私は個人的に二匹のハンディキャップのある猫を飼っています。一匹は感染症で片目を失い、自己免疫疾患を持っています。もう一匹は事故で二本の足を失い、今は義足をつけています。どちらの猫も素晴らしくて、なんの問題もなく彼らのハンディキャップと一緒に暮らしています😊しかしながら、私独力では義足や自己免疫疾患のための費用を支払えなかったことを分かっています。

私たちはまた、私たちの目標を共有してくれる非営利団体の協力促進に努めています！例えば、食べ物、寝床、薬、その他といった、共同の備えの在庫を管理しています。これらはいわゆる（動物たちを）助けたいと思ってくれる人々によって寄付されています。ときにはチャリティ団体がクリスマスなどに組織的に寄付に協力してくれることもあります。そこで、私たちはこれらの物品を分類してそのすべてをそれが最も必要とされている場所へ送ることを試んでいます。



（写真の説明）

この写真は私の猫（彼の名前はモヒートです）が義足を装着する手術をした直後のものです（後ろ足の毛がまだ生えてきていないのが見えるでしょう）。

質問2）チェコの新型コロナウイルス感染症の状況はどうですか？

新型コロナウイルス感染症の第一波はかなり強力でロックダウンが行われましたが、その甲斐あって、比較的少ない死者数ですみました。しかしながら、社会が予防策に協力的ではなかったため感染者数（と死者数）は増加しました。人口の大部分は今予防接種を受けていますが、新型コロナウイルス感染症大流行の影響はまだ感じられます。多くの人々が仕事を失い、新しい仕事を得ようと必死になっています。商売は終わりにしなければなりません。また、新型コロナウイルス感染症が最も激しく流行していたときには、病院も一時的に急ぎではない手術を行うのを止め、新型コロナウイルス感染症での入院患者のためにより多くの場所を作りました。これらの手術は今再び行われていますが、例えば人工関節のインプラント手術のように人々に大きく影響しました。

質問3) ペットの動物たちは新型コロナウイルス感染症の大流行によってどのような影響を受けていますか？

動物たちへの影響は2面あります。第一に、多くの人々が財政的な困難に直面したので、人々は自分のペットを養うのが大変でした。新型コロナウイルス感染症の流行中は、私たちはなんとかやっ
ていこうと奮闘している人々に直接与えるために、多くの先に述べた物資の供給を使いました。第二の影響は、いささか予想していなかったものでした。ロックダウン中に、家で働くことができた人々の中で、新しいペットを手に入れた人がいました。そのときは、ペットの世話ができたのです。しかしながら、飼い主たちが対面での仕事に戻らなければならなくなったとき、彼らの多くがペットを飼い続けるのが不可能となり、追い払おうとしたのです。ロックダウンが終わった直後私たちは、結局シェルターにきた動物たちの数が増加するのを見ました。(来月に続く)



ポーポキの友だちからのお願い

国内避難民の人権に関する特別報告者であるセシリア・ヒメネス・ダマリー氏が、日本の国内避難民を調査するための公式訪日が予定されています。特別報告者とは、国連人権理事会に任命された独立した専門家で、国連から特定された役割を与えられています。

訪日調査では、政府側、市民側の双方の聞き取りが行われます。そこで、市民側の聞き取りのためのスタッフのアテンド代、交通費、通訳・翻訳費用などが必要になります。こうした費用を賄うため、多くのみなさまにご寄付をいただきたく、広く情報拡散いただければ幸いです。

福島の事故発生から11年が過ぎましたが、今も3万人以上の避難者が存在し、厳しい状況が続いています。皆さんご存知のように日本はとても災害の多い国です。いどこで災害が発生するかわかりません。避難者が安心して生活再建できるような仕組みは必須です。そんな中、2022年9月26日から国内避難民の人権に関する特別報告者であるセシリア・ヒメネス・ダマリー氏が、日本の国内避難民を調査するための公式訪日が予定されています。避難は、影響を受ける人々の生命、尊厳、自由、安全に対する権利を侵害する方法で実施されてはならないとする「国内避難の指導原則」や国際人権法を広く知っていただきたいと思っています。

訪日調査へのご支援を宜しく申し上げます。

▶ご支援・カンパのお願い動画 <https://youtu.be/Yt2KzesUry4>

国内避難民の人権に関する国連特別報告者による訪日調査を実現する会
<https://ceciliajimenezamary.livedoor.blog/>

〒604-0804 京都市中京区堺町通竹屋町下ル絹屋町120番地
田辺法律事務所 弁護士 田辺保雄

Tel: 075-211-5631 Fax:075-211-5633 Email: yasuo.tanabe@nifty.ne.jp

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 171 今月のテーマは、平和への祈り！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立ちましょう。黙とう！お辞儀するのを忘れないでね！
 3. 次は、座って、マインドフルに平和を訴える！
 4. さて、最後は膝立ちして、平和を祈りましょう！
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



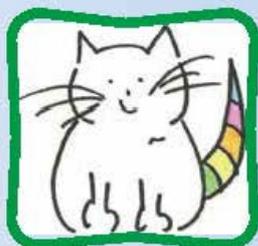
次回のポー一会：2022年8月22日 Zoom 会議 19:00～*

***リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

- ・8月3日 15:00-17:00 多文化共生セミナー で平和を考えるワークショップ (zoom)
- ・8月5日 子どもリングで平和を考える WS パート2
- ・8月9日 08:00-09:30 核を考えるワークショップ(zoom)
- ・8月23日 ポーポキワークショップ@人形劇団クラルテ (予定)
- ・9月18日 13:00-16:00 灘チャレンジ！
- ・10月22日？ 平和と健康ワークショップ

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

- ・『りょうくんのすずむみちー学校に行けない君たちへ』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子 (2020) 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17-32 (2020年1月発行) http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- ・Alexander, Ronni (2021) "The Meaning of Art in Disaster Support: Stories from the Popoki Peace Project," *Journal of International Cooperation Studies*, 28(2), 1-22. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- ・Alexander, Ronni (2022) "Art-stories as reflection: Learning from the Popoki Peace Project," *Journal of International Cooperation Studies*, 29(2), 27-51. <http://www.research.kobe-u.ac.jp/gsics-publication/jics/>



SUMMER Peace EVENT



ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project
&
Remembering Hiroshima, Imagining Peace

2022.8.9 08:00~10:00 (JST) on ZOOM!

Register In advance for this meeting:

https://kobe-u-ac-jp.zoom.us/join/register/tZ0vd-2vpJMvHdJtHyUnCs1_MA0BoAp7baPI

平和って、なんだろう？核兵器と平和とは、関係がありますか？

今、私たちにとって、核って、脅威ですか？

今年もアメリカ、フアハン・グアム、日本の仲間と動画を見て、
核と平和について考えたり、話したりしましょう！

What is peace? Is there a relationship between nuclear weapons
and peace? Are nuclear weapons a threat to us now?

Please join friends from the United States, Guahan/Guam and Japan
to think and talk about nuclear weapons and peace!

プログラム・Program

ごあいさつ・Greetings

動画鑑賞・Watching videos

(1) ピースマシーンの旅：ヒロシマ・ナガサキ編 (20分)

Peace Machine Journey: Hiroshima/Nagasaki (20 min.)

(2) 歴史上のすべての核爆弾の爆発 (3分)

All the nuclear weapons explosions in history (3 min.)

(3) 油そそがれた (6分) ・ Anointed (6 min.)

ディスカッション・Discussion



ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project

アマゾンで買えるよ!

全編日英対照

神戸大学出版会

ポーポキの マスクギャラリー



令和4年3月
発売!!

A5判・192ページ
定価 2,420円(税込)

～コロナ禍でアートを通して
日常の安心を探る～

編著・絵 ロニー・アレキサンダー

Written, edited and illustrated by Ronni Alexander

【本書の内容】

前書き

第一部：ことばの旅

「ことばの旅」への誘い

第二部：「お絵描き」の旅

- ① 物語を描くということ
- ② くちゃくちゃ
- ③ 色たち
- ④ いがなきゃ(桂木聡子)
- ⑤ 2021.1.17 に想う
- ⑥ 乱れ
- ⑦ プール

第三部：「ふりかえり」の旅

「ふりかえり」の旅

- ① ポーポキのマスクギャラリー — 基盤となる日本人の伝統的思考法を考える—(高田西)
Popoki's Mask Gallery — A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi)
- ② 対談：アナ・アガサングロウとロニー・アレキサンダー(世界国際関係学会年次研究大会2021年)
Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander (International Studies Association Annual Conference 2021)
- ③ ポーポキの旅: ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり(ロニー・アレキサンダー)
Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander)

後書き：新たな旅

今度はあなた

Prologue

Part I: A Word Journey

An Invitation to take a Word Journey

Part II: A Drawing Journey

The Meaning of Drawing Stories

All Messed Up

Colors

I've Gotta Go (Katsuragi Satoko)

Thoughts on 17 January 2021

Confusion

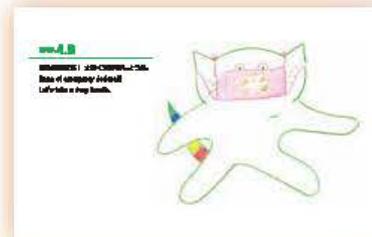
Pool

Part III: A Journey of Reflection

A Journey of Reflection

Epilogue: A New Journey

Now it is Your Turn



本文より抜粋



発行：神戸大学出版会 <https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>
神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 Tel. 078-803-7315 Fax. 078-361-7320

発売：神戸新聞総合出版センター
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F Tel. 078-362-7138 Fax. 078-361-7552

- ロニー、アレキサンダー、桂木、聡子、勅使河原、君江 「被災者の多様で個別的な安心についてお絵描きを通して思索する活動」 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』15(2) 53-65 2022-03-30 JaLCDOI 10.24546/81013202
- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. JaLCDOI 10.24546/81011967
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア37団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いた―“人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO: 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの(連載)とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『『ポーポキ、友情って、なに色?』』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通 信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk33web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)



私にとってポーポキ

ウライカナ

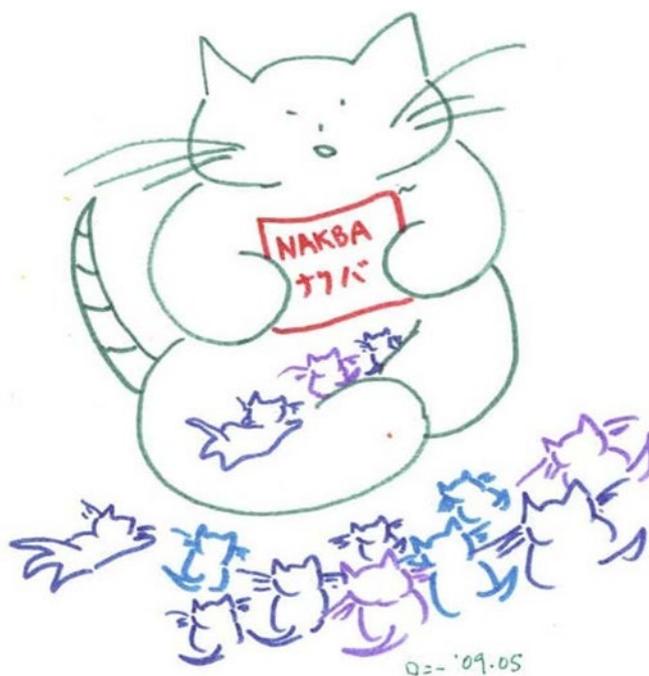
ふあふあした毛をしたポーポキをロニー先生(ろにゃん)のお家にお邪魔したときに、手で触ったことがあります。よく考えるともう 20 年くらい前だと思います。背中や頭を触って仲良くなろうとしたつもりでしたが、ポーポキはあまり気持ちよなくて、怒って私に抗議の声で「やめて！」(と、たぶん)言いました。ロニー先生は「気がたっているから、触らないほうがいいよ。」と教えてくれたように記憶しています。私は良いと思って触って、ポーポキも気持ちよくなってくれると思っていたのですが、どうやら私の思い違いでした。私の黒のフリースに、ポーポキの毛がついて、それが私とポーポキとの、最初で最後の触れ合いとなりました。

相手と仲良くなったり、理解しあったりすることは、本当に難しいことだと思います。ポーポキは私に毛を何本か残して、「嫌い！」になってしまっていたのかもしれませんが。私には悪気はなかったし、それどころか友好の気持ちでいっぱい。でも、ポーポキの側にはあの瞬間、平和も安心も無くなってしまっていました。人と人(とか人と猫)でも、何かの集まりと集まりでも、もっと大きくなって、国と国とでも同じで、「こっちが良いと思って」「こうあるべきだから」と、何かをすすめて、すすめていく内にどんどん加速して、相手の気持ちは見えなくなって、気が付くと、すごい暴力と、取り返しのつかない破壊で覆いつくされてしまうのかもしれない。

だから、平和や、戦争や暴力のない世界を実現させようとするのは、本当に難しいことだと思います。強大な悪者が、強大な悪事を働こうとして、争いが起こるのじゃなくて、良いと思ってやっていることが、相手にとっては良くなかって、悲しく悲惨な結果になってしまうことの方が多様な、そんな気がしています。ちょうどポーポキが、友好の気持ちを示そうとした私に「シャー！」と言ったときのように。

どうすればそう無くなるのだろうか？私には答えはないですし、これは永遠に答えが出ないのかもしれないと思います。でも、それでも、学習することはできる。悲惨な過去や他の国の状況を知って、学んで、次にそうならないように、つなげることはできるかもしれない。その過去や他の国の状況を見て、自分がいる今の世界は同じ過ちを繰り返そうとしていないか想像力を働かせることができるかもしれない。ポーポキは、私自身にとって、そういう想像や学びの場の一つになっていたのじゃないかと思います。(本当のことを言うと、もう長らくポーポキ会から足が遠のいているので、大きなことが言えないのだけれど。)もしも、もしも、またポーポキに会うことが出来たなら、(絵本の中のポーポキじゃなくて)その可愛い姿を眺めるだけにして、邪魔せずゆっくり休ませてあげられると思います。私も少しは学んで、少しは想像力も働かせることが、ポーポキのお陰で出来るようになったから。そして、そのポーポキやその仲間から学んだことを、他の色々なことにも使ってもいきたい。私にとってのポーポキは、そういうものなのかな、と思い巡らせています。

写真は、パレスチナとイスラエルを分離する壁へのポーポキの登場を撮ったもの。(2008年8月ポーポキ・ピース・プロジェクトよりパレスチナへの旅へ参加。)どちらの側にも複雑な事情と言い分と正義があつて、ポーポキと一緒に考えましたが、やっぱり私に答えはありません。結局何も学べていないのか……。いえ、それでも考え続けることが大事なのかもしれません。





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!